

問 学校の適正配置の方針を持って、全小中学校を訪問し、校長先生と懇談をしてきた。岩瀬地区については、異論は出なかった。



菊池伸浩 議員

しかし、真壁・大和地区では、いろいろな意見が出された。一番の関心は、大和中を小学校にした場合、樺穂小や谷貝小の児童が通うことになるのか。また、大和中を小学校にした場合、体育館は敷地内に整備する必要はあるが、その費用はどのように捻出するのかというものであった。

答 教育部長 大和中と桜川中の統合は、保護者アンケートでは、桜川中が桃山学園と統合する意見も半々を占めていたので、その結果に、留意しながら進めることになっています。大和中を小

学校統廃合の方向性

小学1年生が、大和体育館に通うことには無理があるからである。そのときは、体育館の建設はどうなるのか。また、大和中を桜川中に統合する案についても疑問が出ていた。桜川中も大和中も小さな中学校である。この小さな学校が統合しても、すぐに、もう一回の統合が必要になる。もう少し、長期の対策を立てる必要があると考えるが、市の考えはいかがか。

学校として利用する案の場合、学校敷地内の体育館建設も考えられます。財源は、学校統合にかかる国の補助金を検討していくことになりそうです。急激な少子化の進行、また中高一貫校の採用などで、中学生の減少が一段と進むことも考えられます。今後の児童・生徒数の推移を勘案しながら、広域的な統合を検討していく必要があります。

問 茨城県との協議で進捗があったことだが、現時点で精査されている事業費と財源内訳について伺う。



軽部 徹 議員

答 建設部長 現状できる限り精査した数字で、事業費が123億7000万円です。そのうち桜川市側の事業費が52億5000万円になります。財源ですが、国と県か

問 地域医療センターの経営状況と桜川市の財政負担について伺う。

答 保健福祉部長 昨年10月1日から本年3月31日までの半年間の実績で、入院患者は延べ1万6320人、外来患者は延べ3万935人になりました。どちらも当初の利用見込み数は達成されています。また、市の負担額は県西病院時代の平均6億7800万円から平均4億7800万円へ、毎年約2億円の削減を見込んでいます。この負担には、病院建設費の返済も含まれています。

上曽トンネルの整備

問 地域の財政支援と合併特例債を活用することで、最終的な市の負担額は2億6382万3000円になる見込みです。この見込みについて伺う。

答 教育部長 平成30年度におけるいじめ状況調査では、小学校で619件、中学校で97件のいじめ認知の報告がありました。桜川市では、いじめを見逃さないという方針から、小さなことでも早期にいじめを認知することに努めており、認知の数が多いという状況です。

問 小中学校でのいじめの問題、市の取り組みについて伺う。

答 各学校における毎月のいじめに関するアンケートや教育委員会での対応により、いじめ防止や問題の解決を図る体制をとっています。これにより、市内でのいじめに関して、重大な事案や事態と言えない問題は発生していません。

審議された議案と結果

第2回定例会 (6月11日~6月20日)

令和元年度補正予算	
一般会計(第2号)	可決
専決処分	
平成30年度一般会計補正予算(第8号)	承認
平成31年度一般会計補正予算(第1号)	承認
平成31年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	承認
税条例等の一部改正	承認
国民健康保険税条例の一部改正	承認
学童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正	承認
行政組織条例の一部改正	承認
介護保険条例の一部改正	承認
条例の制定・改正	
工場立地法地域準則条例	可決
森林環境譲与税基金の設置及び管理に関する条例	可決
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決
災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	可決

人事・その他	
人権擁護委員の推薦につき意見を求めること(2件)	適任
平成30年度一般会計繰越明許費繰越計算書	報告
平成30年度公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書	報告
合併市町村幹線道路緊急整備支援事業支援対象道路の整備に関する平成31年度委託契約	可決
市道路線の廃止	可決
市道路線の認定	可決
市営県単土地改良事業の施行	可決
工事請負契約の締結の議決事項の変更	否決

第1回臨時会 (7月5日)

その他	
工事請負契約の締結の議決事項の変更	可決

表彰・感謝状

茨城県市議会議長会・県西市議会議長会から表彰状・感謝状が贈られました。

茨城県市議会議長会 表彰状

林 悦子・高田重雄・菊池伸浩・仁平 実・鈴木裕一・萩原剛志

茨城県県西市議会議長会 感謝状

高田重雄・風野和視